

新総合支所庁舎等整備基本構想

(概要版)

I 総合支所庁舎及び周辺施設の現状

(1) 美東総合支所

令和元年5月31日現在

	施設名	建築年月	経過年数	階層	延床面積	耐震基準
①	美東総合支所本館	昭和30年5月	64年	3	1,147.63㎡	旧
	美東総合支所別館	昭和33年12月	60年	2	233.48㎡	旧
②	美東センター	昭和55年9月	38年	3	1,595.43㎡	旧
	美東図書館				110.96㎡	
③	美東保健福祉センター	平成12年3月	19年	1	863.90㎡	新
④	美東体育館	昭和49年3月	45年	2	1,183.00㎡	旧
	トレーニング室	昭和57年12月	36年	1	65.70㎡	
	便所(屋外)	昭和57年12月	36年	1	15.79㎡	
⑤	美東弓道場	昭和50年10月	43年	1	88.29㎡	旧
⑥	大田保育園	昭和51年2月	43年	1	450.13㎡	旧

(2) 秋芳総合支所

令和元年5月31日現在

	施設名	建築年月	経過年数	階層	延床面積	耐震基準
①	秋芳総合支所庁舎	昭和32年11月	61年	2	1,472.91㎡	旧
②	旧施設課	昭和40年3月	54年	1	157.03㎡	旧
③	訪問看護ステーション (旧農林課)	昭和59年1月	35年	1	87.74㎡	新
④	秋吉公民館	昭和44年3月	50年	2	1,097.62㎡	旧
⑤	秋芳図書館	昭和44年4月	50年	1	335.55㎡	旧
⑥	秋芳保健センター	昭和60年3月	34年	2	525.61㎡	新
⑦	秋芳体育館	昭和45年5月	49年	2	1,502.76㎡	旧

II 新総合支所庁舎等整備の基本的な考え方

1 市民が訪れやすい環境づくり

- ① 市民が利用しやすい施設
- ② 社会情勢の変化に対応できる、柔軟性の高い総合支所庁舎
- ③ 個人情報情報のセキュリティを強化した総合支所庁舎

2 防災機能の向上

- ① 市民の安全・安心な暮らしを支える拠点施設
- ② 災害対策拠点としての耐震性能の高い施設

③ 災害対策拠点としての性能確保

④ 避難所の確保

3 施設の複合化

① 周辺施設を核とした拠点施設

② 複合化により耐震性のない施設の解体

③ 省エネ対策等による経済効率の高い施設

④ 周辺環境保全

4 地域振興

① 市民協働のまちづくりの拠点機能

② 市民に開かれた施設

③ 市民自治の拠点

III 新総合支所庁舎等整備の規模

1 新総合支所庁舎等の複合施設の基本面積

	総合支所	公民館	図書館	合計
美 東	450㎡	600㎡	150㎡	1,200㎡
秋 芳	450㎡	600㎡	150㎡	1,200㎡

2 駐車場等の面積

	駐 車 場				必要面積	駐輪場 必要面積	合計
	来庁者用	公用車用	職員用	合計			
美 東	45台	9台	21台	75台	1,500㎡	30㎡	1,530㎡
秋 芳	45台	13台	24台	82台	1,640㎡	30㎡	1,670㎡

3 新総合支所庁舎等の敷地面積

	建 物 敷地面積	駐車場等 敷地面積	そ の 他 敷地面積	敷地面積 合 計
美 東	1,560㎡	1,530㎡	500㎡	3,590㎡
秋 芳	1,560㎡	1,670㎡	500㎡	3,730㎡

IV 整備方法

秋芳総合支所は、総合支所・公民館・図書館の複合施設を新築することとします。

美東総合支所は、美東センターにかなりの経費を今回の整備で投入しても、躯体の寿命が延びるものではなく、今後、供用出来る期限は限定されることになり、ライフサイクルコストなどの項目を総合的に判断すれば、耐震補強・改修を選択するより、合併推進債等の活用により総合支所・公民館・図書館の複合施設を新築するのが最善の選択であると判断します。

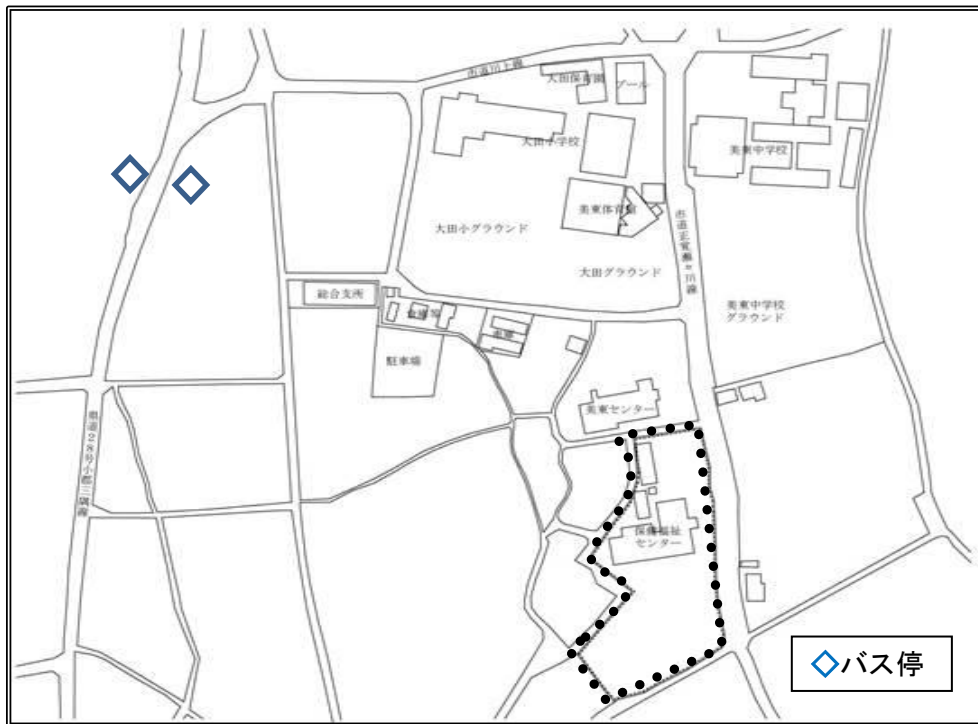
また、美東センターにおいては、今後使用するにあたって耐震補強・改修及び維持管理費等が発生することから、新総合支所庁舎等整備事業が完工するまでに使用用途を検討しますが、決まらなければ解体することも検討します。

V 新総合支所庁舎等の位置

1. 美東総合支所庁舎等の建設候補地について

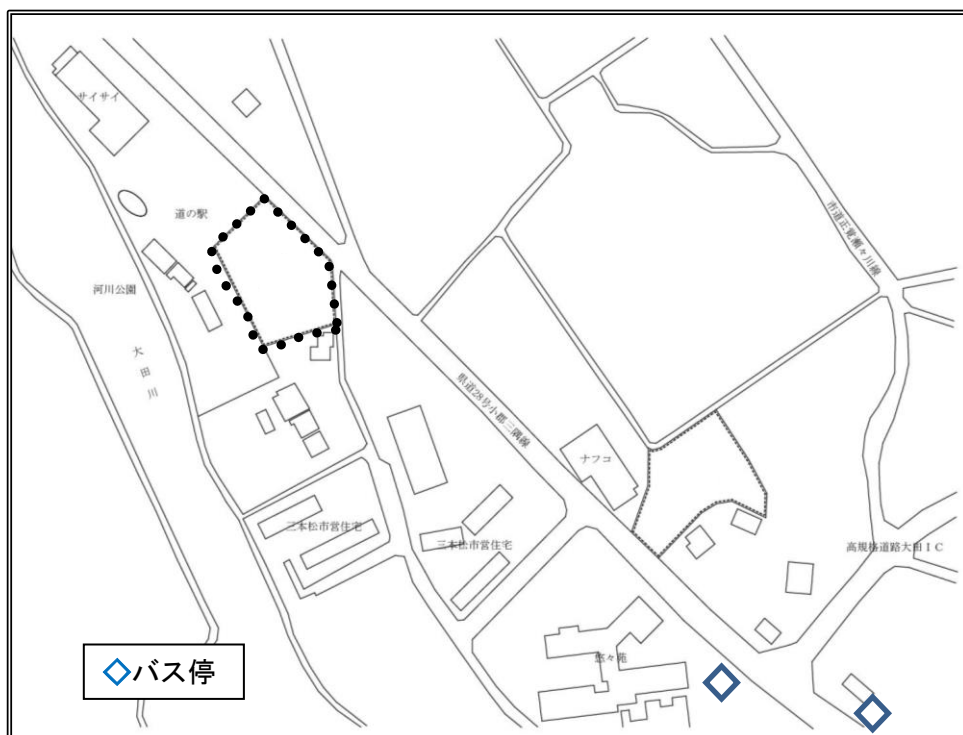
(1) 美東保健福祉センター駐車場付近

候補地	有効敷地面積	内民有地	必要面積充足率
美東保健福祉センター駐車場付近	5,757㎡	0㎡	1.60



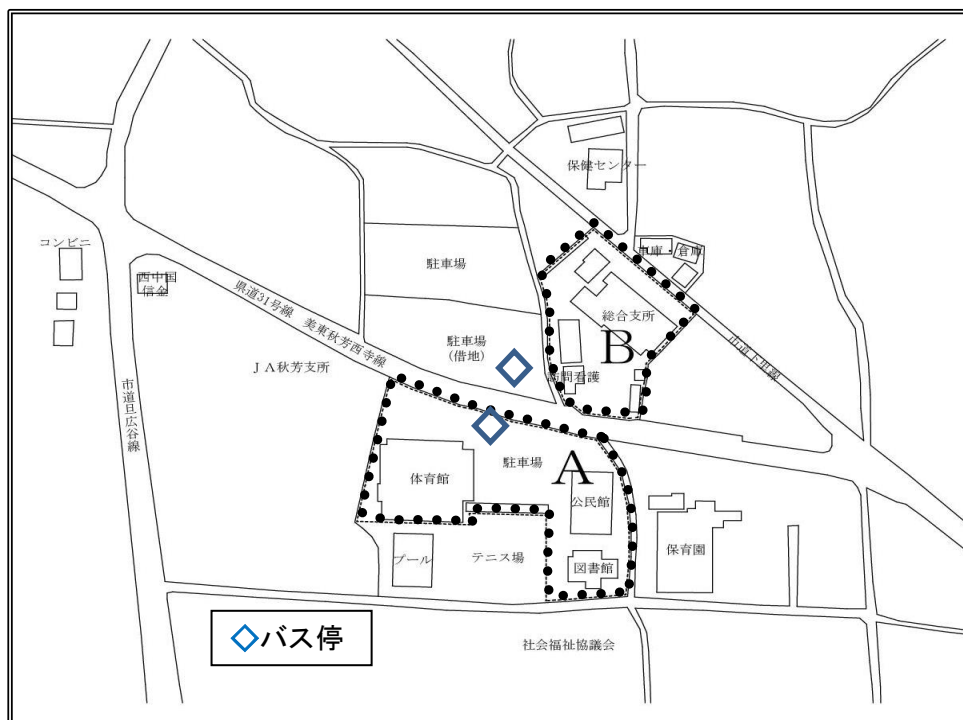
(2) 道の駅周辺（県道小野田美東線等周辺）

候補地	有効敷地面積	内民有地	必要面積充足率
道の駅横	3,553㎡	3,553㎡	0.99



2. 秋芳総合支所庁舎等の建設候補地について

候補地	有効敷地面積	内民有地	必要面積充足率
A：秋吉公民館・秋芳図書館一帯	5,929㎡	0㎡	1.59
B：現在地	3,952㎡	0㎡	1.06



VI スケジュール

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
基本構想	→					
基本計画		→				
PFI等可能性調査		→				
基本設計			→			
実施設計				→		
建設工事					→	
PFI等で実施する場合						●→
竣工・引越						■
現庁舎等解体						→

注) 構想策定時の予定であり、事業の進捗状況により変更になります。